

# 急性中耳炎

## 急性中耳炎について

急性中耳炎は、**3歳までに8割の子どものかかり、2歳をすぎるとかかりにくく**なります。

風邪が原因のことが多く、秋と冬が多いです。

耳の奥には鼓膜があり、鼓膜の外側が外耳、内側が中耳、内耳です。

鼓膜の内側には鼻と耳をつなぐ耳管があります。

耳管は普段は閉じていますが、ものを飲み込んだり、咳やくしゃみをするとき開き、鼻から耳に空気が入ります。

咳やくしゃみなどにより、鼻水が耳管を通して

耳に入ることの中耳で炎症を起こします。

最近はヒブと肺炎球菌のワクチンのおかげで重い中耳炎は減っています。



### 家庭での ケア

#### Point

### 鼻吸い・冷やす

鼻水がたまると中耳炎が悪化したり、長引きます。

**こまめに鼻水を吸い**、鼻の通りを良くしてあげましょう。

中耳炎の痛みを取る応急処置として、**まず冷やして**あげましょう。

氷水を入れたビニール袋などで耳のあたりを冷やすと、痛みが和らぐはずですよ。

それでも痛みが続けば、痛み止め（解熱鎮痛薬）を使います。

夜間や休日は耳鼻科の受診が難しいことが多いのでなるべく日中の間に受診しましょう。

なお、**家族の喫煙は子どもの中耳炎のリスクを上げます**ので家庭内では禁煙しましょう。

夜でることもあるので…



## どんな症状？



大きい子どもでは、耳が詰まっている感じ、  
耳が聞こえにくいなどの症状を訴えることがあります。

赤ちゃんの場合は、**急に泣き出す、むずがる、しきりに耳を触る、首を振る**などの症状があります。

このような症状が鼻水や咳などの風邪症状に続いて起こったときに  
急性中耳炎の可能性を疑います。

## 治療法は？

症状と鼓膜の様子で治療の内容は変わります。

**軽 症** 内服のお薬（抗菌薬）を使わずに、**自然に治癒**するか様子をみます。

**中等症** **抗菌薬**を内服し、症状が改善するか見ていきます。中途半端に服用をやめると、急性中耳炎が長引き、**滲出性<sup>しんしゅつせい</sup>中耳炎**に移行したり、慢性化する原因になります。**指定された期間はお薬をしっかり飲みましょう。**

**重 症** 膿がたまるほどひどい重症の場合、「**鼓膜切開**」という処置を行うことがあります。ごく細いメスで小さな孔を開けて、たまっている膿を外に出します。膿が排出されると、痛みもよくなり熱も下がります。切開した鼓膜は、炎症が治まれば再生します。

鼓膜切開の後しばらくの間は、**血性や膿性の耳だれ**が出ます。  
切開後、耳だれが出ているうちは、お風呂や水泳は禁止です。  
また、清潔を保つようにしましょう。



最近では点耳薬による治療はほとんど行いません。

なお、**中耳炎や肺炎を何度も繰り返す場合には、  
免疫の病気が隠れていることもある**ため、詳しく調べます。